



お知らせ

【天職に就いて】

故郷の地に育まれた 2026-27 年度会長は、ナイジェリアの活気あふれる精神を胸に、リーダーとしてロータリーを導きます

オンラインカ H. ババラ氏氏が最前列へと向かいます。いよいよ本番です。「インカ」の愛称で知られる 2026-27 年度国際ロータリー会長が、ロータリー世界にその姿を初めて披露する瞬間がやってきました。彼はナイジェリア出身としては 2 人目、アフリカ全体で見ても 2 人目の会長となります。

続きは[こちら](#)

【バルセロナ、こんにちは！】

6 月 26 日～30 日にバルセロナでロータリー国際大会が開催されます。これは 2019 年以来、ヨーロッパで初めて開催される大会となります。

6 月にバルセロナでロータリー国際大会が開催されることになり、この海辺の街を訪れたことのある会員や、現地にお住まいの会員たちは、胸を躍らせているのではないのでしょうか。

彼らは、ほかのロータリー会員(そう、みなさんです！)に、自分たちが愛するこの街の活気や文化、そしてさまざまな名所を体験してほしいと願っています。名所といえば、6 月 26 日～30 日にかけて大会が開催されるこの時期、バルセロナを代表する建造物であるサグラダ・ファミリア大聖堂を訪れる絶好のタイミングとなります。140 年以上にわたって建設が続けられてきたアントニ・ガウディの傑作は、今年初め、作業員たちが最後にして最も高い塔の建設を完了させたことで、一つの節目を迎えました。 続きは[こちら](#)

【ベネズエラ地震】

ベネズエラ地震の被災地救援活動、支援については、[ロータリーの災害支援](#)をご参照ください。

ロータリー災害救援基金へのご寄付は、「ロータリー災害救援補助金」を通じて被災地の救援と復興を支援します(今回の地震に対応するための個別の基金設立予定はなく、この災害を指定してのご寄付はできません)。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

【2026-27年度 目標(日本)】

年次基金:1 人当たり 150 ドル以上

- ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ・EREY の深化(「理解」から「主体的参加」へ)
- ・ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区 10 名以上)
- ・自動定期寄付登録者を 15% 増加(継続性の強化)

ポリオプラス:1 人当たり 30 ドル以上

- ・ポリオプラス・ソサエティの拡充(各地区 50 名増)

恒久基金:冠名基金設立の推進

- (各地区1件以上)
- ・ベネファクター／遺贈寄付の推進

大口寄付:メジャードナーの推進

- (1 万ドル以上の寄付を 100 件以上)
- ・AKS の推進(新入会とレベルアップを 10 名以上)

DDF の活用

- ・地区補助金活用の推進
- ・グローバル補助金活用の推進(複数地区連携プロジェクトの推進)
- ・未使用 DDF の積極活用(ポリオ・平和フェロシップ・災害救援)
- ・DDF の 20% をポリオプラスへ寄贈

奉仕活動の推進

- ・世界ポリオデーの推進(全地区で実施)
- ・補助金を活用したプロジェクトの推進(DDF の有効活用)
- ・ロータリー平和フェロシップの推進

【日本の状況】

冠名基金数 292

AKS会員数 76

PHS会員数 1769

【小さなロケットが教えてくれたこと】

寄稿者：鈴木唯雅さん（東京井の頭ロータリークラブ会員）

「3、2、1——発射！」子どもたちの元気なカウントダウンとともに、ペットボトルロケットが勢いよく空へと飛び立ちます。澄んだ青空に向かって一直線に伸びていくその軌道を、子どもたちは目を輝かせながら追いかけます。「飛んだ！」「もう一回やりたい！」その無邪気な歓声の中に、私たちは確かな“未来の芽”を感じています。

東京井の頭ロータリークラブが支援している宇宙少年団の活動は、こうした一つひとつの体験の積み重ねから成り立っています。ロケットや工作、実験といったプログラムは、一見すると遊びの延長のように見えるかもしれませんが、その裏側には、子どもたちが「自ら考え、挑戦する力」を育てる大切なプロセスが息づいています。続きは[こちら](#)

【地域・福祉・未来をつなぐさつまいもプロジェクト】

寄稿者：佃 政幸さん（東京町田・中ロータリークラブ会員）

東京町田・中ロータリークラブの「さつまいもプロジェクト」は、コロナ禍により従来の対面型の奉仕活動が制限される中で、これからの時代にふさわしい新たな奉仕の形を模索する中から生まれた取り組みです。単発の支援にとどまらず、地域に根ざし継続していくことのできる事業をつくりたいという会員の思いが重なり合う中で、2021年にスタートしました。

その原点には、子どもたちが甘くておいしいさつま芋を嬉しそうに頬張る姿があります。誰もが自然と笑顔になれるこの身近な作物を通じて、人と人とのつながりを生み出し、地域の課題解決にもつなげていけるのではないかという温かな発想がありました。続きは[こちら](#)

ポリオプラス

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト：[GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2026年 1月1日～ 7月20日	2025	2024	2023
常在国	パキスタン	3	31	74	6
	アフガニスタン	15	21	25	6
	世界合計	18	52	99	12



寄付・認証

【未来への想いを、恒久的な支援へー冠名基金が実現する寄付者の思い】

恒久基金／大口寄付アドバイザー(EMGA)

第1地域 森川 昭正

第2地域 福原 有一

第3地域 硯川 昭一

EMGAとして多くの方々からロータリー財団の冠名基金とは何かと尋ねられます。みなさまは、冠名基金と聞くとまず何を思い浮かべるでしょうか。名前を付けられる？自分の基金を作ることができる？たくさん寄付しなければいけないから自分には関係ない？そういった印象をお持ちの方が多いかもかもしれません。

ロータリー財団の冠名基金は、2万5千ドル以上のご寄付により、寄付者やご家族などの愛する方々のお名前、お世話になった地区やクラブなどを基金名に含めることができ、支援をする分野も寄付者自身が選ぶことのできるその方だけの特別な基金です。ご寄付を分けて、3年で設立を完了するということもできます。基金への追加寄付も可能で、寄付額によって選べるオプションも増えていき、毎年ロータリー財団から活動報告レポートも届きます。

身近な例としては、支援先に恒久基金-シェアを選択すると、利用可能な投資収益の50%が地区で活用できる資金(DDF)、残りの50%が世界で活用される資金(WF)となります。

基金の元金は使われずにその利用可能な投資収益がプロジェクトに活用されるため、一度したご寄付が恒久的に、ロータリー財団の使命でもある世界理解、親善、平和を達成することに貢献できます。未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となるわけです。寄付という言葉にとどまらず、「どのような世界を次世代に残したいか」というその「想い」を形にできることが大きな魅力です。

寄付者である私たちの価値観や関心分野を反映できるため、自身の人生や活動の理念などを未来へ伝えるレガシー(遺産)としても大きな意義を持ちます。

私たち寄付者一人ひとりのその「想い」が、世代を超えて若者たちの夢や地域社会、そして世界を支える力になる。冠名基金は、ロータリー財団だからこそ実現できる、恒久的な支援のかたちです。



お手続きの詳細に関するお問合せは、財団室メジャーギフト・オフィサー(MGO)の牧野まで
お気軽にお寄せください(Miki.Makino@rotary.org)。

【ジェニファー・ジョーンズ ジャパン キャンペーン】

8月下旬のジェニファー・ジョーンズ ロータリー財団管理委員長来日を記念して、寄付を通じて財団活動を支えたクラブおよび個人の皆さまを称える「ジェニファー・ジョーンズ ジャパン賞」が実施されます。



ジェニファー・ジョーンズ ジャパン賞 概要

<クラブ賞> 以下の両方の条件を満たしたクラブへ賞状が贈呈されます。

- 寄付総額が、前年度比で30%以上増加していること
 - 年次基金一人当たり寄付額が、150ドル以上であること
- 贈呈は、第4四半期より配信されます。

<会員賞> 以下のいずれかに該当する方へ感謝状が贈呈されます。

- 一括で1万ドル以上の寄付をされた方
- 遺贈誓約をされた方

対象期間:2026年7月1日～2027年6月30日までのご寄付

主 催:

ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC):新井和雄、吉川公章、安行英文
恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA):森川昭正、福原有一、硯川昭一

※推進用チラシ、クラブ賞の確認方法、メール署名用フッターなどご用意しております。ご希望の際は、財団室までお問い合わせください。

【2026-27年度版 寄付・認証の手引き 発行のお知らせ】

「寄付・認証の手引き」を2026-27年度版に更新しました。

寄付や認証に関して「どうすればいい?」と迷ったとき、まずはこの手引きをご覧ください。
クラブ事務局に常備しておくと、日々の業務にとっても役立ちます。

ダウンロードは[こちら](https://piif-rfj.org/pdf/tebiki_kifuninsho.pdf)から

https://piif-rfj.org/pdf/tebiki_kifuninsho.pdf



リソース

<My ROTARY>

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーのYouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定事項](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#)にログインをすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

ポール・ハリス・フェロー

認証ポイント使用申請書の

送付先は、

RIJPNTRF@rotary.org です!

★最新のポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書をご利用ください(最下部の送付先を上記アドレスに更新済み)。

★kifu@rotary.org は寄付送金明細書の専用アドレスとなります。

【公益財団法人ロータリー日本財団 領収証について】

2026年1月から6月までの個人寄付の確定申告用領収証を、2026年7月末にクラブ宛てに発送予定です。

領収証が届きましたら寄付者へお渡しいただき、必ず金額、お名前などをご確認いただくようお願いください。原則として、領収証の再発行はできません。紛失には十分にお気をつけください。

誤りがありましたら、公益財団法人ロータリー日本財団 (rijpnfs@rotary.org) までご連絡下さい。

同封物

1	確定申告用寄附金 領収証についてのお願い	クラブへの送付状です。
2	寄附者の皆様へ	確定申告に関する説明です。コピーして寄付者へお渡しください。
3	領収証一覧表	発行された領収証の一覧です。クラブで保管してください。
4	確定申告用寄附金 領収証送付のご案内 (領収証)	【表面】 確定申告用寄附金領収証です。寄付者にお渡しください。 * 振込とクレジットカードによる寄付は、別々に発行されます。領収証 No.の末尾に「G」と表記があるものは、クレジットカードでのご寄付です。 * 金額は半年間の合計寄付額です。領収証の日付は半年間の最終寄付日です。 【裏面】 税額控除に係る証明書 (当財団が税額控除対象の団体であることの証明書)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[年次基金リソース](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

[DDF の繰越金に関する制限:よくある質問\(FAQ\)](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[END POLIO NOW](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

[クラブ優秀賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF (地区財団活動資金) を寄贈されますと国際財団活動資金 (WF) から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から 2 倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ 6=9

※WF からの組み合わせ上限額は 500 万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限 5,000 万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

(使用する DDF の年度を、2021 または現年度から選択)

<感謝状>

ポリオプラスへ 1,500 ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の 20% 以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

補助金

【ロータリーのイニシアチブで遠隔地の助産師を支援】

妊産婦の命と健康を守るため、ロータリー会員たちは助産師のスキル養成とネットワークづくりを後押ししています

現在、主に低・中所得国で、毎日およそ 830 人の女性と 7,000 人の新生児が、妊娠や出産に関連する合併症で命を落としています。これらの死亡のほとんどは予防できるものであり、その鍵を握るのが助産師たちです。ロータリー会員が中心となった取り組みにより、パプアニューギニアとオーストラリアで、助産師たちによる重要な仕事への支援が行われています。

世界保健機関(WHO)によると、世界の助産師数をわずか 10%増やすだけで、年間最大 130 万人の命を救うことができます。

ロータリークラブは、リーダーシップスキルやアドボカシーに関する研修を通じてこのニーズに応えています。クラブは、オーストラリアおよびパプアニューギニアの助産師会と連携し、「パプアニューギニア助産師リーダーシップ・バディ・プロジェクト」を立ち上げました。2025 年 4 月現在、パプアニューギニアの助産師 52 人と、オーストラリアの助産師 31 人がこのプログラムでスキルを高めました。続きは[こちら](#)

【子どもたちの未来に寄り添って ― 水戸のしなやかなロータリークラブの挑戦】

寄稿者：川上美智子さん(水戸好文ロータリークラブ)

女性がロータリー会員になるのがまだ難しかった 2009 年 11 月、当クラブは、水戸を拠点とする日本で3番目の女性会員だけのロータリークラブとして発足しました。創立会員 21 名のうち、現在残っているのは 5 名ですが、2015 年以降は活動に賛同する男性会員 2 名も加わり、現在 17 名で運営しています。小クラブではありますが辣腕揃い、全員が積極的に運営に関わり、規律を守りながら柔軟に活動を続けています。仕事や生活とロータリー活動を両立させるため、無理のない運営をモットーに早い段階から改革を進めてきました。例会は月 2 回の夜例会とするなど、出席しやすい体制を取り入れ、ほぼ 100%の出席率となっています。続きは[こちら](#)

【グローバル補助金－承認者の更新】

申請書や報告書での、クラブ会長など役職による承認者について、本人が補助金センターを開いたことが無いと、承認欄で「任命されていません」と表示されることがあります(または空白)。申請書や報告書の承認段階に入る前に、承認作業が必要な方は事前に補助金センターを開いて表示をご確認ください。

リソース

<補助金関連ウェブページ>

[ロータリーの補助金](#)

[補助金の申請](#)

[補助金センター](#)

[補助金による旅行](#)

[参加資格の認定](#)

[奉仕プロジェクトセンター](#)

[プロジェクトフェア](#)

<補助金の基本情報>

[補助金のプレゼンテーション](#)

[変化をもたらそう: ロータリーの補助金](#)

[補助金に関する各リーダーの責務](#)

[DRFC 補助金ハンドブック](#)

[インパクトハンドブック](#)

[ローターアクトクラブによる補助金](#)

[利用-よくある質問](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

<補助金を申請する>

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

<ロータリー平和センターと奨学金>

[ロータリー平和フェロシップ](#)

[平和フェロシップ会員の役割](#)

[平和フェロシップの申請](#)

[プレゼンテーション \(PPT\)](#)

[奨学金の提供](#)

[ロータリーの学友](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付・ご誓約)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2026 年6月24日～7月17日 確認分 (敬称略、寄付・誓約日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2690	岡山南	伊澤 正信	2680	宝塚 武庫川	大室 備
2510	札幌北	出村 知佳子	2550	足利	羅田 秀顕
2750	東京銀座	福原 有一	2550	宇都宮90	飯村 慎一
2770	浦和	細淵 雅邦	2750	東京 飛火野	水野 功
2580	東京目白	南山 幸弘	2580	東京目白	並木 正幸
2610	七尾	神野 正博	2790	市原中央	大倉 崇
計12件					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)

[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)

[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)

のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)

[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

7月1日～ 9月15日	ロータリー最優秀学友会賞 ロータリー学友世界奉仕賞 推薦期間
7月15日～ 10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞 推薦期間
10月24日	世界ポリオデー
11月1日～ 30日	ロータリー財団功労表彰状 推薦期間
1月1日～ 31日	ロータリー財団特別功労賞 推薦期間

※ロータリー財団に関連の深い賞・表彰のみ。その他の賞や推薦条件は、[ロータリーの各種奉仕賞](#) 参照

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RIJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等にはできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。